競 技 注 意 事 項

1. 本競技会は、2020年度(財)日本陸上競技連盟規則及び本競技注意事項により実施する。

2. プログラムについて

① 当日競技者受付にてプログラムを配布する。

② プログラムに記載ミス（氏名、フリガナ、学年、所属等）があった場合は、8時45分または遅くとも出場する競技の90分前までに大会本部に申し出ること。記録確定以後の訂正（記録証の訂正を含む）には、一切応じない。尚、プログラムの記載事項は、申込の際に送信されたデータをそのまま使用している。

③ プログラムは、残部がある場合に限り販売する。（1部500円）

3. 招集について

① 招集所は、100mスタート地点付近（A ゲート付近）に設ける。

② 招集開始、完了時刻は、プログラム記載の競技開始時刻を基準として以下の通り。

競技種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技 ※100mは組数が多いためタイムテーブル参照。	40分前	30分前
跳躍競技	60分前	50分前
投てき競技	40分前	30分前

③ 招集開始時刻から招集完了時刻の間に競技者本人が招集所に来ること。この招集時にアスリートビブスの最終確認をするので、競技者はアスリートビブスを付けたユニフォームを着用して集合のこと。
招集終了後、競技者は各自でスタート地点または競技場所へ移動のこと。招集は本人のみで、代理人による招集は認めない。

4. アスリートビブス(ナンバーカード)等について

① **アスリートビブス**は主催者が用意する。**胸と背中に2枚着用のこと**。跳躍競技者は胸または背中のどちらか一方でもかまわない。

② トラック競技に出場する競技者は、**写真判定用の腰ナンバー標識（粘着シールタイプ）を招集所で配布する**ので、パンツの右側の上部、やや後ろに付けること。**アスリートビブスともに返却の必要はない**。

5. 競技について

① 今年度の規則の修改正点について、とくに注意すること。

② 競技場は全天候舗装のため、スパイクについては競技規則第143条を参照のこと。

③ 不正スタートは1回目以降の者に対してすべて失格する。スタートの発声は英語で行う。なお、規則第162条5については、本競技会では適用しない。ゆえにスタート時の不適切行為については、規則162条5の（a）,（b）,（c）の不適切行為は注意にとどめる。ただし、繰り返し行う場合は、イエローカードを示し、警告を与える。累積2枚のイエローカードを受けた競技者は当該競技を失格とする。

④ レーンを使用する競技では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分の割り当てられたレーン（曲走路）を走ること。

⑤ 競技に使用する用器具は、すべて競技場備え付けのものを使用する。

⑥ 走高跳の最初のバーの高さは、出場する競技者との協議によりフィールド審判長が決定する。

⑦ 砲丸の重さは以下の通り。

一般男子 ― 7.260 kg、 高校男子 ― 6.000 kg、 中学男子 ― 5.000 kg、
高校・一般女子 ― 4.000 kg、 中学女子 ― 2.721 kg

6. ウォーミングアップについて

①ウォーミングアップ場（バックストレート）は選手のみの入場で、付き添い、指導者、引率者などは入ることはできない。選手に指示する場合は、バックスタンドから行うこと。

②練習はすべて競技役員の指示に従い、指定された場所・時間の範囲内で行うこと。ただし、競技運営上練習を制限することがある。練習中は各々が事故防止に万全を期すこと。なお、周回レースが行われていない時間帯については、バックストレートを開放する。

7. 新型コロナウイルス感染症防止対策に関する取り組みについて

① 本大会は**無観客で開催する**。選手、顧問・指導者・引率者以外の入場は認めない。
また3つの密（密閉・密集・密接）を避け、運動時以外、会場内ではマスクを着用すること。

② 選手、顧問・指導者・引率者は**入場時に当日を含めた8日間の検温を実施した「体調管理チェックシート」を提示し、許可印を受けること。チェックシートが提示されない場合は入場・大会への出場ができない。**当日 37℃以上の発熱があったり体調不良の方も入場できません。**入退場ゲートはメインスタンド正面入り口のみ**とする。

③ 監督・顧問・代表者は本部受付において、アスリートビブス・プログラム等を受け取り、**選手の健康管理の状況を確認したサインをすること。**

④ **「体調管理チェックシート」は会場内では常に各自で携帯し、再入場する際に提示すること。**
なお、**顧問・監督は選手の「体調管理チェックシート」を回収し、大会後2週間は保管しておくこと。**

⑤ 選手の動線はAゲート(100mスタート後方・招集所)から入場し、Bゲート(フィニッシュ地点)から退場する一方通行とする。グランド内に入れるのは選手のみとする。

⑥ 参加者は競技のウォーミングアップ開始に合わせて来場し、競技終了後速やかに帰宅すること。

⑦ 選手は招集の際はマスクを着用し、ウォーミングアップでは競技役員の指示に従い、ソーシャルディスタンスを確保すること。

⑧ 飛沫拡散を防ぐため、応援や大声・近距離での会話を避けること。

⑨ スタンドでの飲食は許可するが、ベンチでは少なくとも1つ以上間隔を空けて着席すること。

⑩ 競技用具使用後は手洗いまたは手指消毒を行うこと。

⑪ タオル、ペットボトル、コップ、袋等の共用を控え、個人用を用意すること。

⑫ ゴミは各自必ず持ち帰ること。

8. その他

① 競技中の事故については、主催者で応急処置はするが以後の責任は負いません。

② 盗難防止のため、貴重品は各自で保管し、また、スタンドでの盗難・置き引きには十分注意のこと。

③ 競技中の助言・指導はスタンドからのみ行うことができる。

④ ゴミは必ず自宅まで持ち帰ること。（競技場及びその周辺、駅などに捨てていかないこと。）

⑤ 記録証は1部300円で発行する。希望者は当日16：30までに大会本部庶務係まで申し出ること。

⑥ その他不明点などあった場合は、大会本部へ照会のこと。